

〔曲名〕 Pattuglia Goliardica

放浪する中世の修道士

〔曲種〕

〔作曲者〕 G.Milanesi

ジュゼッペ ミラネージ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

作者については本誌第6号を参照されたい。

マンドリン無伴奏曲「サラバンダとフーガ」がイル・プレットロ主催の作曲コンクールに入賞してから無伴奏曲に独得の境地を拓いたが

本邦ではマンドリンオーケストラ曲「主題と変奏」によってよく知られている。

他の合奏曲は殆んど知られていないので二曲を紹介する。

適当な訳名が見出せないので「放浪する中世の修道士」としたがゴリアルディは、修道を志さず中世の大学生で大学を離れて世界各地を放浪した。

パトゥリアはパトロールであるが、此処では放浪に意を含めた。

近年では登山とかヨットで大洋を渡ったり無銭旅行などが行なわれているが、

目的は違っていても孤独無援な状態が似ている。

本曲ではそうした見捨てられたような孤独な状態で彷徨う様子が巧みに表現されている。

1935年イル・プレットロから出版を見た。

1971年6月10日発行

イタリアマンドリン百曲選第12集より

